

ナウマン通信



2021年
8月25日発行
第17号

大阪市立我孫子南中学校

今、できることは何か



本日より1年間で最も長い2学期がスタートしました。この夏休みにはオリンピックがあり、昨日からはパラリンピックも開幕しました。オリンピックでは数々の感動があり、テレビの前で思わず大きな声を出してしまうこともありました。なかでも10代の選手の活躍には目を見張るものがありました。皆さんと同じ中学生の金メダル獲得などをみるにつけ、みんなの無限の可能性を改めて感じることができました。いつかこの中からもオリンピック選手が出ることを夢見ています。

また今年の夏は例年になく雨が続き、地域によっては豪雨の災害に合われた方もたくさんいらっしゃいます。被害にあわれた方々の一日も早い復興をお祈りいたします。

以下、本日の始業式で話した内容を紹介しします。改めて読んでください。

2学期 始業式「校長講話」

コロナ禍の中、長かった夏休みも終わり、今日から2学期がスタートします。

みんなはどんな夏休みを過ごしましたか。部活動に一生懸命取り組んだ人、勉強に力を注いだ人、家族との充実した時間を過ごした人、オリンピック観戦に没頭した人、中にはのんびりしすぎた人もいるかもしれません。

今日からまた、学校での生活が始まります。コロナの状況がまだまだ厳しい中、どんな2学期にするかどうかはみんなにかかっています。そこで2学期の始まりにあたって「**今、できることは何か**」ということについて少しお話ししたいと思います。

今言ったようにみんなに考えてほしいのは「**今自分にできることは何か**」ということです。2学期には大きな行事もたくさんあります。みんなには活躍する場面が数多くあります。学校の主役は言うまでもなく君たちです。授業で、クラスで、部活動で、委員会や係活動で、どうしたら集団がより良くなるか？コロナから自分や周りの大切な人を守るために何をしたらいいか？そのためには「**今自分に何が出来るだろうか**」と考えられる人になってほしいということです。

あびなんの教職員はみんなのためにいつも一生懸命です。しかし、学校や先生が生徒のために何かしてくれるのを待つのではなく、生徒であるみんなが「**学校のため、仲間のために何が出来るか**」というふうに考える、そんな発想の転換をしてほしいと思います。

ここにいる人がそれぞれ「自分に何が出来るか」を考えて行動したら、これは相当すごいことになると思います。あっという間に学校は変わると思います。

生徒が生徒の力で学校生活をより良くしていくこと、これがまさに「**自立・自律**」の力です。

今日から始まる2学期、どうか「今、できることは何か」を考えながら過ごしていきましょう。